環境配慮型コンクリート（材料）7

座長:岩下健太郎(土木),椛山健二(建築)
2024年6月28日(金) 13:15 〜 15:00 第2会場 (小展示室B)

[1254]実コンクリート配（調）合から試算したコンクリート材料由来の CO_2排出量

辻大二郎[1], 小島正朗[1], 親本俊憲[2], 依田和久[2] (1.竹中工務店 2.鹿島建設)
キーワード：コンクリート、セメント、設計基準強度、CO_2排出量、高炉セメントC種

東京，大阪のレディミクストコンクリート工場におけるコンクリート配（調）合を基として，セメント種別及び想定する設計基準強度18〜60N/mm²範囲における材料由来の CO_2排出量を試算した。通常に使用される各種ポルトランドセメント，高炉セメント B種の他，近年適用が増加している高炉セメント C種・ C種相当などの低炭素型コンクリートのコンクリート1m³当たりの材料由来 CO_2排出量を示した。また，日本建築学会の建物の LCA指針（2006年版）に示される CO_2排出量との比較や，ポルトランドセメントの CO_2排出量単位が推移した際のコンクリートの CO_2排出量試算値への影響などを考察した。

©公益社団法人 日本コンクリート工学会